

特別会計

特定の事業を行うために一般会計と区別して設置している特別会計は、全ての会計区分において、黒字又は歳入歳出同額決算となりました。



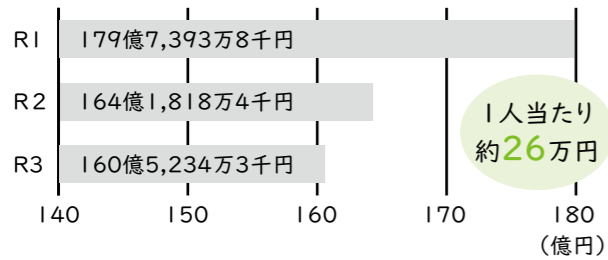
| 会計区分 | 歳入 | 歳出 |
|-------------|--------------|---------------|
| 国民健康保険 | 87億6,213万2千円 | 82億5,034万4千円 |
| 後期高齢者医療 | 8億9,656万2千円 | 8億9,356万7千円 |
| 介護保険 | 72億8,356万2千円 | 69億8,093万5千円 |
| 診療所事業 | 1億3,443万2千円 | 1億3,443万2千円 |
| 給水施設事業 | 1億1,999万2千円 | 1億990万6千円 |
| 住宅新築資金等貸付事業 | 198万8千円 | 189万8千円 |
| 情報センター事業 | 4億8,293万2千円 | 4億8,293万2千円 |
| 合計 | 176億8,160万円 | 168億5,401万4千円 |

市税の収入状況

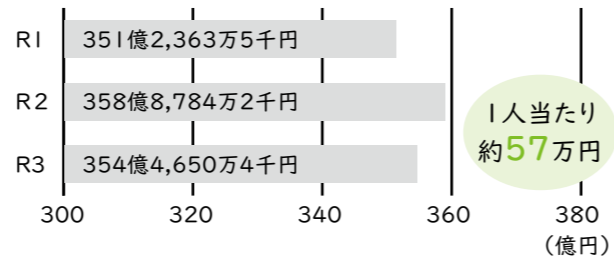
市民一人当たりの額は、令和4年3月31日現在の人口62,464人で算出しています。

| 種目別 | 予算現額 | 調定額 | 収入額 | 市民1人当たり |
|-------|--------------|--------------|--------------|-----------|
| 市民税 | 26億4,977万2千円 | 29億5,897万7千円 | 29億832万8千円 | 4万6,560円 |
| 固定資産税 | 34億3,729万1千円 | 38億3,067万3千円 | 36億9,763万7千円 | 5万9,196円 |
| 軽自動車税 | 2億5,815万6千円 | 2億6,437万5千円 | 2億5,755万4千円 | 4,123円 |
| 市たばこ税 | 4億4,961万7千円 | 4億8,026万5千円 | 4億8,026万5千円 | 7,689円 |
| 入湯税 | 2,905万2千円 | 1,797万3千円 | 1,797万3千円 | 288円 |
| 都市計画税 | 3億9,856万9千円 | 4億4,111万円 | 4億2,547万9千円 | 6,812円 |
| 合計 | 72億2,245万7千円 | 79億9,337万3千円 | 77億8,723万6千円 | 12万4,668円 |

基金残高 全ての基金



地方債残高 普通会計のみ



水道・下水道事業

| 水道事業 | 執行額 | 給水人口 | 配水量 | 1日最大配水量 | 1日平均配水量 | 1人1日最大配水量 | 総有収水量 | 有収率 |
|-------|--------------|---------|------------|---------|---------|-----------|------------|--------|
| 収益的収入 | 13億5,996万9千円 | 48,451人 | 6,273,763㎡ | 19,655㎡ | 17,188㎡ | 406ℓ | 5,328,069㎡ | 84.93% |
| 収益的支出 | 12億6,618万4千円 | | | | | | | |
| 資本的収入 | 1億7,578万3千円 | | | | | | | |
| 資本的支出 | 4億7,509万5千円 | | | | | | | |

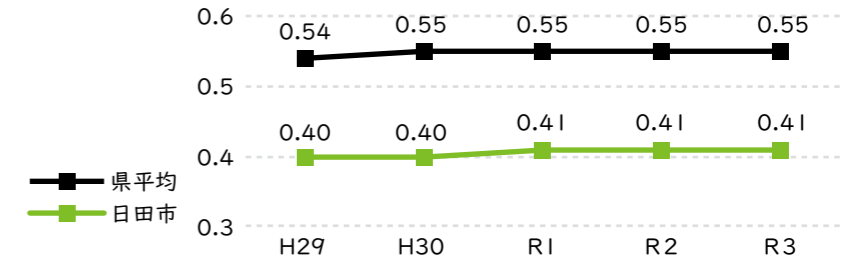
| 下水道事業 | 執行額 | 整備済面積 | 処理区域内人口 | 水洗化人口 | 水洗化率 |
|-------|--------------|-----------|---------|---------|-------|
| 収益的収入 | 19億9,229万7千円 | 1,398.6ha | 47,056人 | 41,712人 | 88.6% |
| 収益的支出 | 19億6,271万1千円 | | | | |
| 資本的収入 | 8億6,876万2千円 | | | | |
| 資本的支出 | 13億4,941万8千円 | | | | |

財政が良好かどうかの判断基準となる以下の数値を見ていきます。

財政力指数 3年平均

地方税など自治体の標準的な収入で合理的に行政運営を行った場合に、どこまで必要経費が賄えるかを測定する指標です。この指標は数値が高いほど財源に余裕があるとされています。

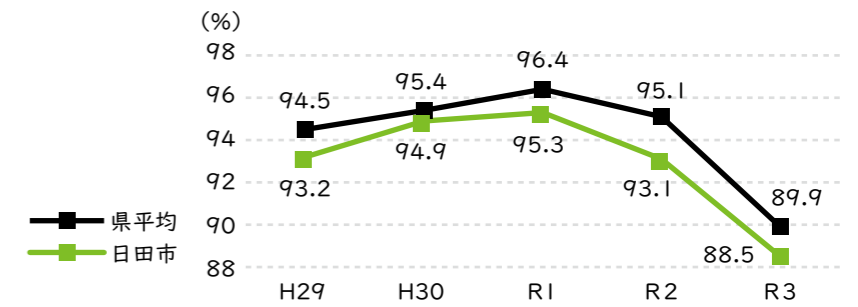
令和3年度は0.41
(前年度 0.41)



経常収支比率

毎年決まって入ってくるお金(地方税、普通交付税など)が、毎年決まって出ていくお金(人件費、借金の返済など)に、どの程度充てられるかを示す指標です。この比率が低いほど財政構造が弾力性に富んでいるとされています。

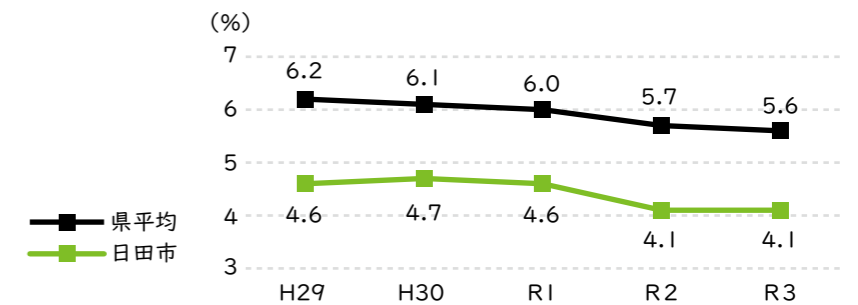
令和3年度は88.5%
(前年度 93.1%)



実質公債費比率

借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを、財政規模に対する割合で表した健全化判断比率(※)の一つです。この比率が18%以上となる地方自治体は、地方債を発行するときに国の許可が必要になります。

令和3年度は4.1%
(前年度 4.1%)



(※)健全化判断比率には、実質公債費比率の他に、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率、資金不足比率がありますが、いずれも比率が生じておらず、健全な状態です。



用語説明
 ・健全化判断比率：財政が良好かどうか判断できる指標。財政破綻を防止し、早期に健全化を図ることを目的としているもの
 ・実質赤字比率：財政運営の悪化の度合いを示す比率
 ・連結実質赤字比率：全ての会計を合算し、市全体の財政運営の度合いを示す比率
 ・将来負担比率：将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す比率
 ・資金不足比率：公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率
 県内市町村の状況は、大分県ホームページ「市町村財政のすがた」から見るができます。